

令和元年度 兵庫県国民健康保険の運営状況

1 被保険者及び医療費の動向

1 被保険者等の状況

- 被保険者数は減少する一方で、一人当たり医療費が高い前期高齢者の割合が増加

【被保険者数】

本県② 1,429千人→③ 1,189千人 (▲16.8%)

全国② 34,511千人→③ 28,241千人 (▲18.2%)

【前期高齢者の割合】

本県② 37.4%→③ 45.4%、全国② 34.7%→③ 43.2%

2 医療費の動向

- 高齢化等に伴い、一人当たり医療費は、毎年2～3%程度増加
(②本県 380,953円、全国 362,159円、全国 21位)
- 県内における平成29年度の医療費水準(年齢調整後)の格差は1.24倍
(②最高：上郡町 416,296円、最低：豊岡市 336,043円)

2 令和元年度の保険料決定状況等

1 増減の状況(対30年度)

公費拡充(毎年3,400億円)や激変緩和措置により、制度改正による急激な保険料の上昇は概ね抑えられ、円滑に施行

- 増加：24市町、減少：17市町

	市町名	一人当たり保険料額(円)		増減率(%)	
		H30年度	R1年度		
県平均	—	90,453	93,295	3.1	
最大	増加	神戸市	87,563	93,859	7.2
	減少	洲本市	91,502	86,681	▲5.3

2 削減・解消すべき赤字(決算補填等目的の法定外一般会計繰入及び前年度繰上充用金の増加分)の状況

	繰入等実施市町	繰入額
H29年度	7市：神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、赤穂市、宝塚市、三木市	1,570百万円
H30年度	3市：西宮市、芦屋市、三木市	863百万円

3 令和元年度の国保特別会計の運営状況

1 決算見込み

- 収支見込み：47億59百万円の黒字(剰余金) ※歳出(歳入)総額の約1%
⇒ 令和元年度決算認定(令和2年9月県議会)後、令和3年度以降の納付金総額の抑制や公費精算時の財源として活用

(単位：百万円)

区 分	当初予算額 ①	決算見込額 ②	差引増減額 ②-①
歳入総額 A	497,705	504,869	7,164
歳出総額 B	497,705	500,110	2,405
収 支 A-B	0	4,759	4,759

2 歳入及び歳出

(1) 歳入 71億64百万円の増加(見込み)

【主な要因】

- H30年度決算剰余金を繰越金として収入(+95億16百万円)
- 保険給付費の実績見込額の減少に伴う国庫支出金及び一般会計繰入金(県繰入金)の減少(▲21億77百万円)

(単位：百万円)

科 目	当初予算額 ①	決算見込額 ②	差引増減額 ②-①
納付金	161,654	161,654	0
国庫支出金	137,282	135,458	▲1,824
前期高齢者交付金等	164,954	165,034	80
一般会計繰入金・基金繰入金	33,815	33,207	▲608
前年度繰越金	0	9,516	9,516
合 計	497,705	504,869	7,164

(2) 歳出 24億5百万円の増加(見込み)

【主な要因】

- H30年度分の精算に伴う公費等返還金(+60億88百万円)
- 保険給付費の実績見込額の減少(▲36億39百万円)

(単位：百万円)

科 目	当初予算額 ①	決算見込額 ②	差引増減額 ②-①
保険給付費等	404,654	401,015	▲3,639
後期高齢者支援金	67,165	67,073	▲92
介護納付金	25,057	25,057	0
前期高齢者納付金・基金積立金等	829	877	48
公費等返還金	0	6,088	6,088
合 計	497,705	500,110	2,405

4 国保運営方針に係る主な取組の進捗状況

1 保険料の算定方法

① 算定方式(市町数) ※ 県内標準：3方式

- 現在、4方式の7市町(たつの市、佐用町、宍粟市、養父市、朝来市、南あわじ市、豊岡市)についても、3方式を目指して段階的に移行中

	H29年度	H30年度	R1年度
3方式	22	34	34
4方式	19	7	7

※ 資産割の年度推移

(単位：%)

	たつの市	佐用町	宍粟市	養父市	朝来市	南あわじ市	豊岡市
H29年度	17.60	37.40	23.60	38.85	33.20	27.00	32.94
H30年度	11.73	18.70	15.80	24.70	23.00	27.00	24.50
R1年度	5.86	18.70	7.90	12.96	12.00	22.50	20.66

② 賦課限度額(市町数) ※ 県内標準：政令基準と同額

- 現在、政令基準となっていない2市(明石市、赤穂市)についても、政令基準を目指して段階的に移行中

	H29年度	H30年度	R1年度
政令基準	89万円 40	93万円 39	96万円 39
政令基準以外	85万円 1	89万円 2	93万円 2

※ 2市の状況(H30→R1)
政令基準：3万円の引き上げに対し、4万円の引き上げ

2 目標収納率の達成状況

- 収納率は、年々増加(本県② 91.55%→③ 93.64%、全国 24位)しており、全国平均(② 92.45%)以上
- 平成30年度の規模別収納率では、約37%の市町が目標を達成

規模別	H30年度	
	目標値	達成状況※
10万人以上	94.1% (②全国上位10%の水準)	33.3% (1/3)
5万～10万人	93.7% (" 10%の水準)	100.0% (3/3)
1万～5万人	94.5% (" 30%の水準)	37.5% (6/16)
1万人未満	95.7% (" 50%の水準)	26.3% (5/19)
合 計	—	36.6%(15/41)

※達成状況は、達成市町数を規模別市町数で除して算出

3 医療費の適正化に係る取組状況(市町数)

- 県2号繰入金及び保険者努力支援制度等による支援により、市町の医療費適正化に係る取組は進展
- 特に、重複服薬者に対する取組は、国保連合会と連携し、市町へ重複・多剤服薬者リストや先進事例の情報提供等を実施したことで大幅に増加

取 組 内 容	H29年度	H30年度	R1年度
糖尿病等の重症化予防の取組状況	25	39	41
個人インセンティブ制度の導入(ヘルスケアポイント等)	22	31	38
重複服薬者に対する取組状況	21	28	41
後発医薬品の使用促進の取組状況(目標の立案・差額通知の送付)	14	37	41
データヘルス計画の策定状況	39	40	40

兵庫県国民健康保険運営方針（抜粋）

第2節 収納対策

保険料は、県内国保の主たる財源の一つであり、保険料の適正な徴収は、保険財政の安定化や被保険者間の負担の公平性確保の観点から重要である。このため、各市町の収納率の向上等保険料の適正な徴収に向けて次の取組を進める。

1 保険者規模別の目標収納率（現年度分）の設定

県は、市町の収納率向上対策の促進を図るため、保険者規模など収納率に与える影響を考慮して保険者規模別の目標収納率を設定し、その達成状況に応じて、必要な技術的助言及び勧告を行う。

(1) 目標設定の考え方

収納率の一層の向上により、保険財政の安定化及び保険料の伸びの抑制を図るため、国の保険者努力支援制度の指標を踏まえ、全国の市町村との比較により、毎年度の目標収納率を設定する。

(2) 保険者規模の区分の考え方

保険者努力支援制度の創設を機に、全国との比較により目標収納率を設定することとの整合性を図るため、保険者規模の区分については、保険者努力支援制度と同様に、被保険者数が10万人以上、5万人以上～10万人未満、1万人以上～5万人未満、1万人未満の4区分とする。

(3) 目標とする水準

保険者努力支援制度では、全国上位3割又は上位5割に当たる収納率の達成を評価指標としていることから、これらの水準のうち、保険者規模ごとに未達成の市町が半数以上の水準を目標値として設定する。

ただし、既に半数を超える市町が、全国上位3割の水準を達成している保険者規模の市町については、より高い目標を設定することにより、収納率の向上を図り、保険料の伸びを抑制できるというインセンティブを設けるため、上位1割又は上位2割の水準を目標値として設定する。

既に目標を達成している市町については、更に上位の水準を目標値として設定する。

【参考】全国の市町村との比較による目標収納率（令和元年度※）

保険者規模	平均		全国上位 10%	全国上位 20%	全国上位 30%	全国上位 50%	(参考) 全国最高
	本県	全国					
被保険者 10万人以上である市町村	93.2%	91.2%	94.3%	93.4%	92.9%	91.1%	96.2%
〃 5万人以上10万人未満である市町村	94.4%	90.9%	94.3%	93.5%	92.6%	91.5%	97.2%
〃 1万人以上5万人未満である市町村	93.6%	93.4%	96.2%	95.4%	94.8%	93.9%	100.0%
〃 1万人未満である市町村	94.6%	95.2%	98.7%	97.8%	97.1%	96.0%	100.0%

※ n年度の目標収納率は、直近（n-2年度）の全国の数値をもとに設定する。

令和元年度 保険者規模別の目標収納率の設定

市町名	㉑収納率	㉒被保険者規模	㉓全国との比較							
			上位10%	上位20%	上位30%	上位50%	上位10%達成率	上位20%達成率	上位30%達成率	上位50%達成率
神戸市	93.09%	10万人以上	×	×	○	○	33%	33%	67%	100%
姫路市	94.32%	10万人以上	○	○	○	○				
尼崎市	92.16%	10万人以上	×	×	×	○				
西宮市	94.21%	5～10万人	×	○	○	○	67%	100%	100%	100%
明石市	94.32%	5～10万人	○	○	○	○				
加古川市	94.96%	5～10万人	○	○	○	○				
宝塚市	91.42%	1～5万人	×	×	×	×	0%	13%	25%	56%
伊丹市	93.03%	1～5万人	×	×	×	×				
川西市	92.61%	1～5万人	×	×	×	×				
芦屋市	94.68%	1～5万人	×	×	×	○				
三木市	94.36%	1～5万人	×	×	×	○				
高砂市	93.40%	1～5万人	×	×	×	×				
三田市	95.66%	1～5万人	×	○	○	○				
たつの市	94.83%	1～5万人	×	×	○	○				
豊岡市	94.15%	1～5万人	×	×	×	○				
洲本市	94.03%	1～5万人	×	×	×	○				
赤穂市	93.73%	1～5万人	×	×	×	×				
小野市	94.79%	1～5万人	×	×	×	○				
加西市	93.72%	1～5万人	×	×	×	×				
丹波市	95.62%	1～5万人	×	○	○	○				
淡路市	93.05%	1～5万人	×	×	×	×				
南あわじ市	94.86%	1～5万人	×	×	○	○				
相生市	94.91%	1万人未満	×	×	×	×				
西脇市	94.97%	1万人未満	×	×	×	×				
猪名川町	95.44%	1万人未満	×	×	×	×				
加東市	94.73%	1万人未満	×	×	×	×				
多可町	96.26%	1万人未満	×	×	×	○				
稲美町	94.11%	1万人未満	×	×	×	×				
播磨町	93.41%	1万人未満	×	×	×	×				
市川町	95.36%	1万人未満	×	×	×	×				
福崎町	95.37%	1万人未満	×	×	×	×				
神河町	94.42%	1万人未満	×	×	×	×				
太子町	92.33%	1万人未満	×	×	×	×				
上郡町	94.47%	1万人未満	×	×	×	×				
佐用町	96.62%	1万人未満	×	×	×	○				
宍粟市	93.51%	1万人未満	×	×	×	×				
香美町	97.41%	1万人未満	×	×	○	○				
新温泉町	94.89%	1万人未満	×	×	×	×				
養父市	95.78%	1万人未満	×	×	×	×				
朝来市	93.62%	1万人未満	×	×	×	×				
篠山市	94.46%	1万人未満	×	×	×	×				
合計	93.64%	—	3	6	10	18	7%	15%	24%	44%